

2017年1月25日

2017年度 第1回Jリーグ理事会後記者 チェアマン会見 発言録

〔村井チェアマンからコメント〕

遠いところから申し訳ございません。2017 シーズン最初の理事会を終えました。本年度はJリーグ YBC ルヴァンカップの 25 周年を迎える年であり、また、来年はリーグ戦の 25 周年を迎えるにあたり、次の四半世紀に向けてJリーグはどういった方向で発展させていくのか、極めて重要な年という認識であると、理事会の冒頭で話した。今後骨太の議論をやっていこうということも理事のメンバーと共有した。現在、タイ・バンコクにきている。Jリーグアジアチャレンジ in タイと題してウィンターカップを行っている。提携しているタイ・プレミアリーグとJリーグ間で国を超えてキャンプのタイミングで交流している。昨日、スパンブリ FC と鹿島アントラーズ、バンコク・ユナイテッドと横浜F・マリノスの試合が開催され、原副理事長とともに視察した。

〔原副理事長からコメント〕

2 試合を視察し、予想以上にタイのチームのモチベーションが高い印象を受けた。それ以上に、鹿島アントラーズでは鈴木優磨選手が 2 得点をあげ、後半からはペドロ・ジュニオール選手やレオ・シルバ選手といった新加入の選手たちが、非常に良いコンビネーションを見せていた。横浜 F・マリノスも、扇原貴宏選手、山中亮輔選手、松原健選手と言った新加入選手たちや、若い富樫敬真選手がストライカーとして得点するなどして活躍していた。ただの練習試合とは違う。お客様も入れてテレビでも放映され緊張感があって、両チームとも非常にいいモチベーションで戦ってくれた。現地ではちょうど今、タイの地上波の番組で鹿島の鈴木選手と横浜FMの富樫選手が出演しており、日本でも Facebook LIVE でご覧いただけるので、皆さんにも少しお見せしたい。

～番組を放送～

〔村井チェアマンからコメント〕

現地の言葉で伝わりにくいかもしれないが、インターネットの書き込みについての話題で、現地でも話題を呼んでいる大会であることが伝わる。この大会は DAZN で配信している。沖縄ラウンドでのニューイヤーカップも配信しており、初めての配信となったFC琉球対ジェフユナイテッド千葉の試合も多くの方にご視聴いただいた。開幕に向けて試験導入を重ね順調に進んでいる。

そのほか理事会の説明などは、萩原広報部長より行う。

〔萩原広報部長から追加報告〕 ※配布資料を参照

《決議事項》

1.実行委員選任の件

横浜F・マリノスが古川宏一郎氏に、カマタマーレ讃岐が山下幸男氏にそれぞれ変更した。

2.2017マッチコミッショナー選任の件

今シーズンのJリーグ担当マッチコミッショナーを承認した。

3.2017Jリーグサテライトリーグ開催の件

昨シーズンから始まったJサテライトリーグ、若手の実戦経験機会を確保する目的で本年も継続して実施する。(J1からJ3まで)1月末まで参加クラブを募っている。ほかにルヴァンカップでも本年から21歳以下の選手1名以上の先発出場を決めた。こうした若年層の実戦経験の場を創出していくための施策の一つである。

4.2017年以降のJリーグ YBC ルヴァンカップ国内放映権の件

フジテレビと放映権について合意し、2017年度はフジテレビとスカパー！で放送することが決まった。

5.2017Jリーグパートナー契約の件

DAZNを展開する Perform Investment Limited 株式会社がオフィシャルブロードキャスティングパートナーとなった。

《報告事項》

1.2017Jリーグ担当審判員の件

Jリーグの担当審判員が決定。主審 59 名、副審 82 名。

2.後援名義申請の件

アイデムカップ2017フットサル大会の後援が決定した。

[村井チェアマンよりコメント]

補足する。ルヴァンカップの中継配信のマスターライセンスはフジテレビジョンで、全国地上波での放送。サブライセンスとしてスカパー！が全試合中継する。長らくスカパー！がJリーグを支え、今のJリーグの発展に大きく寄与した。リーグ戦をDAZN、リーグカップ戦をフジテレビおよびスカパー！という座組でお願いすることになった。

〔質疑応答〕

Q: 理事会と離れるが、スルガ銀行チャンピオンシップの対戦チームであるシャペコエンセが出場辞退の意向という報道がブラジル国内で出ているが、聞いていることはあるか。また率直な思いを聞かせていただきたい。

A 村井チェアマン

直接、シャペコエンセやブラジルサッカー協会から聞いていない。報道で知る限りである。シャペコに訪問するようにスケジュール調整をしているところだった。実際にクラブは多大な困難を抱えているところではあり、我々が想定し得ないこともあるだろう。慰問のために一度先方に訪問できればと思っている。

Q: Jリーグアジアチャレンジの今後の開催継続の見通しは。

A: 村井チェアマン

日本にとっては大事なので、継続できるものであれば継続していきたい。ACL では過去スタートダッシュでつまずくことが多かったので、一定の気温があり、一定の移動距離もあり、本気でぶつかることのできる試合ができることは有意義なことである。エリアについてはタイに限らず検討していく。

A: 原副理事長

タイのバンコク・ユナイテッドは来週から ACL のプレーオフを戦い、勝てばG大阪と戦うことになるため、彼らは非常に高いモチベーションでJリーグのチームと試合をしている。Jリーグサイドも先に述べたとおり高いモチベーションで臨んでいる。タイ国内のテレビ放送もされており、これがタイ国内でも認知され、人気度も上がっていけばよりよい。さらに明日の2試合を観て、検討を重ねたい。

A: 村井チェアマン

タイのムアントンFCから北海道コンサドーレ札幌にチャナティップ・ソングラシン選手が加入することが決まり、こちらの地元でメディアの取材を受けた。Jリーグとタイの皆さんとの話題が、こうした大会を通じて広まればいいと思う。平日の16時キックオフのため、集客は課題。時間設定や告知など、見直すべき部分もあるが、初めて開催し、収穫も多い大会だと思う。

Q: そちらのスタジアムの天気、設備、コンディションなどはどうか？

A: 村井チェアマン

中心部にあるナショナルスタジアムで、先日も代表戦を行った。設備などは十分だと思う。トラックがあるが一定の傾斜もあるので見やすさも問題がなく、音響なども十分だった。運営諸室が揃い

ホスピタリティーゾーンもあり、十分に国際試合ができるスタジアムという印象を受けた。

Q:2019年のアジアカップが1月5日開幕と報じられているが、天皇杯の日程に課題が生じると思う。今年、開幕を4月に移したが、2018年度の天皇杯に関して、JFAとの調整も含めて考えを聞かせてほしい。

A:原副理事長

1月にアジアカップがあるとすると、これまでの天皇杯の日程では2週間、選手が休みを取りにくい状況である。JFAの所管委員会などでどうすべきかを相談しながら、Jリーグも話し合っていくことになると思う。

Q:シャペコーにはいつごろ訪れるのか。出場辞退の申し出が正式にあったとすると、訪問した際に出場に関しても話をするのか。

A:村井チェアマン

訪問日時は確定していない。開幕までは難しいので、開幕したあとの3月以降と思っている。本件は、スルガ銀行チャンピオンシップの打ち合わせで行くわけではなく、日本で活躍したシャペコエンセの選手の映像を持って行き、ご遺族に日本での活躍ぶりを伝えるための訪問なので、大会の辞退うんぬんは関係なくお伺いできればと思っている。ただし、クラブも再起に向け様々な業務に追われているということなので、状況を見守りながら進めたい。私が伺いたいと思っても日程が確定できるか分からない。

Q: 決まっていない話で報道段階のため話しにくいことがあると思うが、ヴィッセル神戸がポドルスキ選手に「興味を示している」という話が国内外で報じられている。彼が来る・来ないということではなく、Jリーグへ、大きなことを成し遂げた大物外国人選手が来てくれるだろうという期待感や、放映権をはじめ非連続の成長に向けた手応えがあれば伺いたい。

A:村井チェアマン

昨年来、今シーズン以降のことを話していくプロセスにおいても、原点である日本のサッカーの水準向上に向けて投資していくことの合意はなされてきた。中でも指導者や世界レベルでの競技実績や実力のある選手がJリーグに来てくれることは、その一助となるので、主要国の代表で活躍していた選手が日本に関心を示してくれていること、そういう選手獲得に積極的に動いてくれるクラブがあることに関しては、非常にありがたいと思っている。DAZNに限らずクラブの配分金が厚くなってきていることが一助となっているのであればよい。